

高齢乳癌症例の発見契機と検診発見例における臨床病理学的特徴の研究

研究協力をお願い

この研究は、日本医科大学中央倫理委員会の承認および研究機関の長（学長：弦間昭彦）の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して行います。研究目的や研究方法は以下のとおりです。直接のご同意はいただくずに、この掲示によるお知らせをもって実施します。

皆様方には研究の趣旨をご理解いただき、この研究へのご協力をお願いします。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問などは下記の問い合わせ先へご連絡ください。

1. 研究の対象

2017 年 1 月 1 日から 2025 年 9 月 30 日までに日本医科大学千葉北総病院乳腺科で乳癌の手術を受けられた、手術時に 65 歳以上の患者さん。

2. 研究の目的

この研究の目的は、日本医科大学千葉北総病院で手術を実施した 65 歳以上の乳癌の患者さんの検診発見を含めた発見契機と治療状況、臨床病理学的特徴、合併症や栄養状態を評価することで、高齢者における検診の意義について検討することです。

3. 研究の方法

この研究は日本医科大学千葉北総病院で実施する研究で、研究責任者および研究事務局は藤井孝明です。

2017 年 1 月から 2025 年 9 月までに日本医科大学千葉北総病院乳腺科にて、一般的な高齢者の区分である 65 歳以上、また対策型検診の対象上限を超える 70 歳以上、さらに後期高齢者である 75 歳以上で手術を実施した乳癌の患者さんの検診発見を含めた発見契機と治療状況、臨床病理学的特徴、合併症や栄養状態を評価します。

研究実施期間は実施許可日から 2026 年 3 月 31 日までです。

この研究は、外部機関との利益相反はありません。

4. 研究に用いる試料・情報

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、診断名、血液検査（白血球数、Alb、CRP、血小板、好中球、リンパ球、D-dimer）、手術方法、手術日、原発巣の病理学的検査結果、周術期補助療法の詳細（時期、薬物、放射線）、再発日など

利用を開始する予定日：実施許可日

情報の取得の方法：研究目的でない診療の過程で取得

この研究に関する情報は、個人が容易に特定されないよう記号化した番号により管理されます。情報は施錠可能な乳腺科部長室内に設置された、インターネットに接続されていないパスワード保護されたパーソナルコンピュータに保管されます。患者さんの個人情報が、個人が特定できる形で使用されることはありません。

作成日 : 2025 年 8 月 28 日

また、患者さんから、研究を継続されることについて同意の撤回がなされた場合は、個人情報速やかに廃棄し、この研究に用いることはありません。なお、研究結果の報告、発表に関して、個人を特定される形では公表しません。

5. 問い合わせ先窓口

この研究に関するご質問などがありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

また、情報が研究に用いられることについて、患者さんまたは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

日本医科大学千葉北総病院 乳腺科 藤井孝明

〒270-1694 千葉県印西市鎌苅 1715

TEL : 0476-99-1111 内線 : 2411

メールアドレス : f-takaaki@nms.ac.jp